

平成 28 年度 プログラミング演習 授業概要

内容: C 言語の文法仕様に基づいてプログラムを記述し, それをコンパイルして実行するまでの基本的な操作を実習する。本演習により, 計算システムにおける基本的な操作法やテキストエディタによるファイル作成・編集方法を学習する。また, プログラムのコンパイルや実行の仕組みを理解するとともに, 演習課題に対するプログラム技術を習得する。

成績: 課題とレポートの提出および出席状況を総合して評価する。

テキスト: 蓑原隆, 『C プログラミングの基礎[新訂版]』(サイエンス社, 2007)

ホームページ: <http://www.comp.tmu.ac.jp/stsuchida/lecture.html>

日時	回	内容	教科書
10/5	1	システムの基本概念・操作: 基本コマンド, エディタの操作, C コンパイラ	
10/12	2	簡単なプログラム(1): printf 文, 変数, 代入文	2 章
10/19	3	簡単なプログラム(2): 数値の入力, 数学関数	2 章
10/26	4	復習と課題提出1: 簡単なプログラム	
11/9	5	条件分岐: if 文, 条件の記述, 構造をもった分岐, 乱数の使用	3 章
11/16	6	処理の繰り返し: 回数を決めた繰り返し(while 文, for 文)	4 章
11/23	7	復習と課題提出 2: 条件分岐, 処理の繰り返し	
11/30	8	配列: 配列変数, 多次元配列, 配列の早見表としての利用, ソーティング	5 章
12/7	9	復習と課題提出3: 配列	
12/14	10	関数: 関数の呼び出し, ローカル変数とグローバル変数, 配列データの受渡し	7 章
12/21	11	復習と課題提出4: 関数	
1/11	12	発展課題 1: 力学運動のプログラミング	※
1/18	13	発展課題 1: 力学運動のプログラミング(課題提出)	※
1/25	14	発展課題 2: 電気回路応答のプログラミング	※
2/1	15	発展課題 2: 電気回路応答のプログラミング(レポート提出)	※
2/8	16	予備日	

※ホームページ上に掲載される補足資料を参照